

- 慣性系である S 系 (xy) に対して原点を同じくし、一定の角速度 ω で回転する S' 系 ($x'y'$) を考える。
 - S 系 (xy) において、 x 軸方向に Δt の間に $v\Delta t$ だけ進んだ。S' 系 ($x'y'$) において、 y' 方向への変位を生じるためには見かけの力 $F_{y'} = -2m\omega v$ が作用しているように見えることを説明せよ。
 - $\mathbf{r} = x\mathbf{i} + y\mathbf{j} = x'\mathbf{i}' + y'\mathbf{j}'$ とする。 $\frac{d}{dt}\mathbf{i}' = \omega\mathbf{j}'$, $\frac{d}{dt}\mathbf{j}' = -\omega\mathbf{i}'$ であることを示せ。
 - 運動方程式は次のようにかける。

$$\mathbf{F} = m\frac{d^2}{dt^2}(x\mathbf{i} + y\mathbf{j}) = m\frac{d^2}{dt^2}(x'\mathbf{i}' + y'\mathbf{j}')$$

$$m\mathbf{r}'' = \mathbf{F} + m\omega^2\mathbf{r}' - 2m\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{v}'$$

となることを導け。

- 慣性系である直交座標系 S 系 (成分 xyz 直交基底ベクトル $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$) に対して一定の角速度 ω で回転する直交座標系 S' 系 (成分 $x'y'z'$ 直交基底ベクトル $\mathbf{i}', \mathbf{j}', \mathbf{k}'$) を考える。位置ベクトルは以下のように記述できる。

$$\mathbf{r} = x\mathbf{i} + y\mathbf{j} + z\mathbf{k} = x'\mathbf{i}' + y'\mathbf{j}' + z'\mathbf{k}'$$

S 系の直交基底ベクトルの間には以下の関係式が成り立つ。S' 系についても同様。

$$\mathbf{i} \cdot \mathbf{i} = \mathbf{j} \cdot \mathbf{j} = \mathbf{k} \cdot \mathbf{k} = 1, \quad \mathbf{i} \cdot \mathbf{j} = \mathbf{j} \cdot \mathbf{k} = \mathbf{k} \cdot \mathbf{i} = 0$$

3.

$$\mathbf{i}' \cdot \frac{d\mathbf{i}'}{dt} = 0, \quad \frac{d\mathbf{i}'}{dt} \cdot \mathbf{j}' + \mathbf{i}' \cdot \frac{d\mathbf{j}'}{dt} = 0$$

となることを示せ。

- S' 系に固定されている質点 (x', y', z' は時間変化しない) の位置ベクトルの場合、時間で微分すると以下のようなになる。

$$\frac{d\mathbf{r}}{dt} = x'\frac{d\mathbf{i}'}{dt} + y'\frac{d\mathbf{j}'}{dt} + z'\frac{d\mathbf{k}'}{dt}$$

$$\frac{d\mathbf{i}'}{dt} = \omega_{11}\mathbf{i}' + \omega_{12}\mathbf{j}' + \omega_{13}\mathbf{k}'$$

$$\frac{d\mathbf{j}'}{dt} = \omega_{21}\mathbf{i}' + \omega_{22}\mathbf{j}' + \omega_{23}\mathbf{k}'$$

$$\frac{d\mathbf{k}'}{dt} = \omega_{31}\mathbf{i}' + \omega_{32}\mathbf{j}' + \omega_{33}\mathbf{k}'$$

とすると、直交座標系の場合、 $\omega_1 = \omega_{23}, \omega_2 = \omega_{31}, \omega_3 = \omega_{12}$ となるベクトル $\boldsymbol{\omega} = \omega_1\mathbf{i}' + \omega_2\mathbf{j}' + \omega_3\mathbf{k}'$ を用いて次の式を示せ。

$$\frac{d\mathbf{r}}{dt} = \boldsymbol{\omega} \times \mathbf{r}$$

- $\frac{d\mathbf{r}}{dt} = \boldsymbol{\omega} \times \mathbf{r}$ となることを図を書いて説明せよ。

課題

任意のベクトル \mathbf{A} に対して

$$\frac{d\mathbf{A}}{dt} = \frac{d^*\mathbf{A}}{dt} + \boldsymbol{\omega} \times \mathbf{A}$$

が成り立つことを示せ。ただし、 d^*/dt は、基本ベクトルは微分しないで、成分だけ微分することを表す。(ヒント： \mathbf{i}' などは S' 系上に固定されている。 $\mathbf{A} = A_x\mathbf{i}' + A_y\mathbf{j}' + A_z\mathbf{k}'$ を時間で微分してみよう。)